



JSAF

一般財団法人 JSAF  
Global Academic Education

# 留学体験記

## アメリカ・サンディエゴ州立大学 留学中間報告

JSAF 2024 年夏・秋派遣 第一回留学レポートより

「留学を通して、改めて全ての人それぞれに背景があり、異なる価値観があることを感じました。」

|       |                                                      |
|-------|------------------------------------------------------|
| 派遣先大学 | サンディエゴ州立大学(San Diego State University／アメリカ・カリフォルニア州) |
| 在籍大学  | 同志社大学 商学部 商学科 3 年                                    |
| 留学形態  | 学部留学(学部授業を履修)                                        |
| 派遣期間  | 2024 年夏・秋派遣(1 学期目終了時点の報告)                            |

※本体験記は派遣生の第一回留学レポート(1 学期目終了時点・留学継続中)をもとに再構成した中間報告です。

### 1. ここまでの数か月を振り返って

留学が始まって数か月、語学に関しては聞き取りが特に伸びたように感じます。大学での授業や現地の人とのリアルな英語に触れ、実際に体験しないと身につかない言い回しなどを学ぶことができました。生活面では、分からないことは素直に聞くことも学び、自分から進んでコミュニティに参加して社交の場を広げることも、段々とできるようになりました。

また、アパートに住んでいるため家事を自分ですること、日頃から両親がしてくれていたことへの感謝の気持ちがさらに高まりました。留学を通して、改めて全ての人それぞれに背景があり、異なる価値観があることを感じています。

### 2. 渡航準備と到着後

**日本で準備しておけば良かった点:** 友人と会話をしていると、やはり日本のことを聞かれることが多いので、日本の文化や歴史、食、エンターテインメントなどをスラスラと説明できるように準備しておいた方が良かったと思いました。

**日本から持ってくれば良かった物:** 常備薬をもう少し余分に持ってきておけば良かったと感じます。また、暖かい洋服も余分に日本から持ってきておけば良かったです。

**到着後すぐに購入が必要だった物:** アパートでの生活なので、寝具がすぐに必要でした。

**初日のオリエンテーション:** 任意参加でしたが、キャンパスツアーから始まり、大学内のホールでパワーポイントとともに、大学の施設や履修登録、様々なアクティビティについて丁寧に分かりやすく説明してくださいました。

### 3. 授業と学び

1 学期目は学部の授業を 4 科目(計 12 単位)履修しました。成績は学期途中のもので、最終成績は未発表です。

| 科目                                            | 単位 | 成績<br>(途中経過)                        | 内容と感想                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| WMNST310<br>Global Cultures and Women's Lives | 3  | エッセイ課題は全て満点                         | 魔女狩りやグローバリゼーション、文化、ファッション、言語、戦争などの包括的なテーマから、女性がどのように位置付けられ、社会的機能が誰によってコントロールされているのかを学びました。約 40 人のクラスで、毎週リーディングや動画に対するエッセイと notes の提出で評価されます。様々な予備知識が必要で苦労しましたが、日本の大学にいと学べない出来事や側面から学べたのはとても貴重な体験で、楽しかったです。                                                                            |
| BA323<br>Fundamentals of Finance              | 3  | テスト 3 回: 47.5 点・75 点・85 点、クイズは満点    | 株式や負債などの基本的な金融の知識を学び、金融計算機の使い方も習得しました。約 130 人の大規模クラスで、40 問の選択問題のテストが計 4 回と、各チャプターのオンラインクイズで評価されます。日本で金融学を履修していましたが、英語で学ぶと 1 から学んでいる感覚でした。数字も日本で学んだ時より大きく、公式と計算機を使って理解するのにとても苦労し、一番難しい授業だと感じています。ただ、教科書をしっかり読んで参加すると授業内容を理解することができました。                                                 |
| ECL157<br>Comics and History                  | 3  | pop quiz: 50 点・80 点・45 点、中間テスト 66 点 | AI やロボットに関するグラフィックノベルや日本の漫画、映画などを通して現代社会を見る授業です。約 200 名のクラスで、出席と pop quiz、中間・期末の点数で成績が決まり、office hour や発言などの内申点、イベント参加による extra credit もあります。多くの本を読まなければならないのは予想外でしたが、英語の本と日本の本との違いも見られて面白かったです。テストではできるだけアカデミックに書くよう言われ、ライティングに苦労しました。                                               |
| MGT358<br>Fundamentals of Entrepreneurship    | 3  | 中間 book report 14.5/16 など           | 留学生のみのスペシャルセッションで、約 30 名のほとんどがヨーロッパからの学生でした。アントレプレナーになるには何が必要かを学び、グループプロジェクトを通して必要なスキルを身につける授業です。毎週のオンラインクイズ、個人レポート、中間・期末のオンラインテスト、2 つのグループプロジェクト(途中経過: Trend Analysis 3.65/4、Game Ideation 98%)で評価されます。他の留学生と交流し、各国の文化の違いや共通点を英語で会話できたのでとても良い選択でした。言葉がなかなか通じない中、平等に役割分担することは難しかったです。 |

## ■ 日本の大学との違い

専門用語の多い授業では教科書の読み込みが欠かせず、Pop quiz や中間テストでは制限時間内に手書きで簡単なエッセイを書く場面もあります。留学生同士でグループを組むプロジェクト型の授業もあり、イタリアとドイツからの留学生と一緒にプロジェクトに取り組みました。

## 4. 英語力の伸びと工夫

英語力は伸びていると感じます。先生や友人と会話している時に、頭の中で考えている時間が少なくなっていることが感じられますし、ドラマや映画を日本語字幕なしでも理解できるようになっています。さらに、友人に「英語が上達した」と言われたことが大きいです。

| スキル    | 苦労した点                                                                  | 工夫した点                                               |
|--------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| リスニング  | 専門用語が多く使われている授業では、そもそも意味を知らないので内容を理解するのに苦労しました。                        | 教科書を読み込み、分からないことはとにかく周りに聞くことを心がけました。                |
| スピーキング | うまく発音できているか、文法は合っているかなどの不安な気持ちが大きく、プレゼンの際にうまく話すのに苦労しました。               | 何度もスクリプトを声に出して読み、グループのメンバーにも発音を確認してもらいながら改善していきました。 |
| リーディング | Women's Studies や Finance の授業では専門用語が教科書や課題に出てくるので、授業中にすぐ理解することに苦労しました。 | 事前に教科書を読み込んだり、分からない単語は英語の辞書で引いて調べるようにしました。          |
| ライティング | Pop quiz や中間テストで手書きの簡単なエッセイを書く際、著者の名前や自分の考えを制限時間内に書くことに苦労しました。         | 授業で指摘された重要単語などを使って、自分の考えを書く練習をしました。                 |

## 5. キャンパスライフ

### ■ 住まいと食事

学生アパートに 4 人で住んでおり、ルームメイトはアメリカ人 2 人と半期留学のドイツ人 1 人です。同じ歳のルームメイトとはすぐに打ち解けることができ、他の 2 人とも定期的に共有スペースでお喋りをしたり、映画を見たり、料理をしたりと、比較的良好な関係を築けています。特に仲良くなったルームメイトには、Thanksgiving の祝日に親戚の自宅に招待してもらい、楽しい時間を過ごしました。

食事は、ランチは基本的にアサイーボウル、朝は食パンと卵、夜も週末以外は基本的に自炊しています。スーパーに冷凍食品が豊富なので、疲れている時や授業で遅くなった日は簡単なもので済ませています。

### ■ 交友関係

**現地の学生：**週末は夜に一緒に出かけたり、BBQ をしたり、良い関係を築けています。

**他の国からの留学生：**オリエンテーションで話しかけた韓国の留学生と仲良くなり、ルームメイトも含めてよく遊んでいます。留学生のみの授業ではイタリアとドイツからの留学生とグループを組んでプロジェクトを行い、そのうちの 1 人とは野球観戦もして楽しい思い出を作ることができました。

**日本人：** パーティーやオリエンテーションで出会った人たちはいますが、直接遊ぶことはあまりありませんでした。

### ■ サンディエゴという街

基本的に雨は降らず、ほとんどが気持ちのいい天気です。12 月に入っても日中は半袖でも比較的過ごせますが、季節を問わず夜は意外と冷え込むので、体調に気をつけないといけないと感じています。サンディエゴはメキシコに近く、ヒスパニックの文化をたくさん感じることができます。LA やラスベガスよりは穏やかな時間が流れている感覚です。ダウンタウンまでは渋滞がなければ車で 25 分ほど、トロリーを使うと 1 時間程度かかります。

**お薦めスポット：** North Park という場所です。brewery と呼ばれるいわゆるパブが立ち並び、週末には trivia というクイズにも参加できる場所があります。アーケードがついているバーもあり、ダウンタウンほど騒がしくないなので、ゆっくり友達と楽しむことができお勧めです。

**治安について：** キャンパス内で何度か銃撃事件があり、その後すぐに違う街でも起きたので、比較的治安が良いとはいえ、常に細心の注意が必要だと感じました。

## 6. 課外活動と休暇の過ごし方

今学期は課外活動には参加しませんでした。休みの日はルームメイトとアパートに併設されているジムで運動をしています。少し早起きをして体を動かすことで、日頃の疲れをとることができています。また、車で出かけたり、ディナーに行ったり、ご近所さんと BBQ をしたりして過ごしています。



オリエンテーション初日のキャンパスツアーで訪れたキャンパス／ユニバーサル・スタジオ・ハリウッド



Thanksgiving の食事／Balboa Park のクリスマスマーケット

## 7. 費用と持ち物

| 項目          | 内容                                          |
|-------------|---------------------------------------------|
| 生活費(月のお小遣い) | 家賃や旅行費などを除くと月に約 20 万円～30 万円です。主に日用品が占めています。 |
| 持ってくれば良かった物 | 常備薬(もう少し余分に)、暖かい洋服                          |
| 到着後すぐに購入した物 | 寝具(アパート生活のため)                               |

## 8. ここまでを振り返って・最終学期に向けて

次学期は、PSFA350(International Studies)、FIN336(Principle of Residential Property Management)、ISCOR300(Global System)、TFM346B(History of Film Classics 1960s to Today's cinema)、DANCE100D(Yoga for Dancers)の履修を予定しています (Waitlist の科目もあるため確定ではありません)。

ボキャブラリーと会話をするときの文法が気になるので、そこをより改善できるように努めたいです。目標としては、活動団体に参加して新しい人との交友関係を築き、何かを達成したいです。また、日本に帰ると就職活動が控えているので、インターンシップ等の申込に向けて準備をする予定です。帰国後には TOEFL の受験も考えています。

「目標としては、活動団体に参加し、新しい人との交友関係を築いて何かを達成したいです。」